

# 五ヶ伝と五カ国の日本刀

会期 令和六年四月二十七日（土）～六月十六日（日）

## ◆山城伝

No. 指定 認定	種別	銘別	銘文	法量(糶)	時代	伝来	所蔵
--------------	----	----	----	-------	----	----	----

1	○	太刀	銘 国永 (附)金梨子地葵紋散鞘打刀拵 (附)本阿弥光忠折紙	六九・四	平安時代後期	宇和島伊達侯爵家旧蔵	個人
---	---	----	-----------------------------------------	------	--------	------------	----

2	○	太刀	銘 国安	七一・四	鎌倉時代初期	美作国津山藩 松平家	刀剣博物館
---	---	----	---------	------	--------	---------------	-------

3	■	短刀	銘 吉光(名物 鍋島藤四郎) (附)黒蠟色鞘合口短刀拵 (附)古鞘	二三・二	鎌倉時代中後期	徳川将軍家	個人
---	---	----	--------------------------------------------	------	---------	-------	----

4	■	刀	無銘 伝来国行 (附)本阿弥光忠折紙	七一・一	鎌倉時代中期		刀剣博物館
---	---	---	--------------------------	------	--------	--	-------

5	○	太刀	銘 来国俊 元亨元年十二月日	七四・五五	鎌倉時代末期(二三二)	出羽国米沢藩 上杉家	刀剣博物館
---	---	----	-------------------	-------	-------------	---------------	-------

6	□	短刀	銘 来国光	二八・四	鎌倉時代末期		個人
---	---	----	----------	------	--------	--	----

7	□	脇指	銘 来国信 信国(左衛門尉) (附)草花紋黒絹包諏訪家紋金具脇指拵 (附)本阿弥光忠折紙	三〇・六	南北朝時代		刀剣博物館
---	---	----	----------------------------------------------------------	------	-------	--	-------

## ◆大和伝

9	□	太刀	無銘 千手院	六七・四	鎌倉時代初期		刀剣博物館
---	---	----	-----------	------	--------	--	-------

10	□	刀	無銘 手掻	六八・五	鎌倉時代		個人
----	---	---	----------	------	------	--	----

11	■	刀	無銘 当麻 (金象嵌 恐)	六九・五	鎌倉時代末期		刀剣博物館
----	---	---	---------------------	------	--------	--	-------

12	■	刀	(金象嵌 銘) 尻懸則長磨上之 本阿(花押)(光室) (附)本阿弥光常折紙	六九・五	鎌倉時代末期		刀剣博物館
13	□	短刀	銘 貞興	二五・九	鎌倉時代末期		刀剣博物館

◎……重要文化財

○……重要美術品

■……特別重要刀剣

□……重要刀剣

14 大身槍 銘 南都住人金房兵衛尉政次(号丸子槍) 六〇・七 室町時代後期 旧和泉国岸和田藩 岡部家 個人

15 刀 銘 奥州仙台住藤原国包 寛文五年三月吉日 六三・六 江戸時代前期(一六六五) 刀劍博物館

16 刀 銘 水心子正次(花押) 八十一翁美濃介直胤(花押) 安政四年正月吉日 七〇・二 江戸時代末期(一八五七) 個人

◆備前伝

17 〇 太刀 銘 友成 九六・三 平安時代乃至鎌倉時代初期 伝平教経佩用 刀劍博物館

18 〇 太刀 銘 正恒 七〇・六 鎌倉時代初期 個人

19 〇 太刀 銘 成宗 七四・九 鎌倉時代前期 個人

20 刀 銘 (金象嵌銘) 助真 七二・一 鎌倉時代中期 刀劍博物館

21 〇 太刀 銘 長光 七二・二 鎌倉時代後期 個人

22 刀 銘 (金粉銘) 長義(号 柳生長義) 七〇・六 南北朝時代 刀劍博物館

23 〇 太刀 銘 備州長船盛光 応永十二年八月日 七一・九 室町時代前期(一四〇五) 紀州徳川家 刀劍博物館

24 〇 刀 銘 備前国住長船与三左衛門尉祐定作 天文三年二月吉日 七〇・三 室町時代後期(一五三五) 刀劍博物館

◆相州伝

25 〇 短刀 銘 国光 嘉元三年(以下切) 二一・四 鎌倉時代後期(一二三〇六) 個人

26 〇 脇指 銘 (朱銘) 行光(名物 大島行光) [本][阿][花押][光室] 三三・三 鎌倉時代末期 大島光政 ↓ 加藤嘉矩 個人

27 〇 短刀 銘 (朱銘) 正宗(号 蜂須賀正宗) 二四・五五 鎌倉時代末期 徳川家光 ↓ 美濃国大垣藩戸田氏鉄 個人

28 〇 短刀 銘 (朱銘) [正][宗][名物 芦屋正宗] [本][阿][花押][光常] (附)金沃懸地葵紋散鞘合口短刀拵 (附)古鞘 二七・四 鎌倉時代末期 徳川家康 ↓ 薩摩国大島津家 個人

29 〇 脇指 無銘 伝正宗 五七・五 鎌倉時代末期 幕府御船手奉行 向井将監忠勝所蔵 個人

30 ◎ 短刀 無銘

貞宗（名物 太鼓鐘貞宗）

二四・八五

鎌倉時代末期乃至南北朝時代初期

太鼓鐘家 ↓ 徳川秀忠 ↓ 個人

31 ○ 脇指 銘

相模国住人広光  
貞治三年三月日

三四・四

南北朝時代（二三六四）

個人

32 □ 脇指 銘

大和州住人九郎三郎重国居  
駿河州後於紀伊州明光山作之  
羽掃為都筑久太夫氏勝作之元和八年戌八月吉日  
（棟に）鑿物天下一池田権助義照

四一・六

江戸時代前期

個人

33 □ 短刀 銘

清磨

二九・四

江戸時代末期

個人

◆美濃伝

34 ◎ 短刀 銘

兼氏

二一・二八

南北朝時代

刀劍博物館

35 ○ 短刀 銘

兼友

二八・一五

南北朝時代

刀劍博物館

36 □ 刀 銘

兼元  
（附）変塗朱腰刻鞘肥後打刀拵

六七・六

室町時代末期

刀劍博物館

37 大身槍 銘

和泉守兼定作  
永正十二年八月日

四六・三

室町時代後期（二五二五）

個人

38 脇指 銘

濃州関住兼常末世宝  
（棟に）八幡大菩薩奉造  
誠鬼成就界□満足

三〇・六

室町時代後期

個人

◆現代刀匠と五ヶ伝

39 刀 銘

大隅俊平作  
平成十年十月十日

八一・八

現代（一九九八）

刀劍博物館

40 脇指 銘

太阿月山源貞一作（花押）  
日刀保たたら刃以初玉鋼試作之  
（棟に）昭和五十三年二月吉日

三〇・五

現代（一九七八）

刀劍博物館

41 脇指 銘

両山子正峯作之  
昭和五十三年二月日  
日刀保夕夕ラ玉鋼試作刀

三三・一

現代（一九七八）

刀劍博物館

42 刀 銘

源盛吉 昭和五十五年十月日  
昭和五十三年度操業  
日刀保たたら玉鋼試作刀

七一・〇

現代（一九八〇）

刀劍博物館

◆近年の寄贈品

43	□ 太刀 無銘	古備前吉包	七六・四	平安時代末期	刀剣博物館
44	刀 銘	肥前国住人忠吉作	七四・七	江戸時代前期	刀剣博物館
45	刀装具	無鑑査彫金師 古山如山氏作品一式	現代		刀剣博物館

※都合により展示物は変更する場合がございますので、ご了承ください。

次回展覧会

第28回

特別重要刀剣等新指定展

2024年6月29日(土)  
 7月28日(日)



刀剣博物館  
 The Japanese Sword Museum

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会  
 〒130-0015 東京都墨田区横網 1-12-9  
 お問い合わせ：TEL03-6284-1000  
<https://www.touken.or.jp/>



アクセス《電車・バスをご利用の場合》

- JR総武線「両国駅」西口 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口 徒歩5分
- 都営バス・墨田区内循環バス「旧安田庭園・同愛記念病院」目の前